

「津山市障害者計画」について

市民と歩む会 黒見 節子



質問「津山市障害者計画」の取り組みの各施策は。

答弁障害者が市民の一人として生活し

社会参加できるように、啓発活動している。自立支援法によるサービスや補助など進めている。地域では、連絡調整会議などを行い、交流会なども今後さらに多くの人との活動に広げ、共生社会を作っていく。自立に向け、多方向への啓発を進めながら一般就労への移行を目指して努力したい。

質問「地域公共交通」のごんごバスの荷棚、つり革、大型化は。

答弁荷棚は天井が低く設置していない。現路線は道幅が狭く、大型バスは困難である。通院、買い物、観光の足として機能しており、利用促進していきたい。

市民の目線で

市民と歩む会 河本 英敏



質問十七年度の給食費未払いが二月現在で九十五万円あったが未払い〇円と決算されている。誰が帳尻を?

答弁校長などの協力で対応したと聞いている。

質問合併後、入札制度統一は、来年度その方向とその具体化の時期は。

答弁現在作業を進めている。具体的な内容は今は言えない。基本方針として、①制限型一般競争入札の導入、②プロック制の見直し、③電子入札の導入などを考えている。

質問ごみ不法投棄は一向にやまず、行政の対応は。

答弁町内会、津山警察、県民局など随時連携、市でも監視カメラ六台購入、町内会、警察へ貸し出し、成果を挙げている。十八年度の不法投棄の検挙件数は十五件十六人、今年八月末で八件八人検挙、罰金十万円、三十万円を罰せられている。

高齢者保健福祉対策について

新風会 庄司 勝義



質問厚生省の推計では高齢者が二〇一〇年には二十一・二%で二〇二〇年には四人に一人となる。津山市では福祉対策をどう考えているか。老人ホーム、

ケアハウスは金で解決するが、ホームケア、デイサービスは多くの人手がいる。高齢者施策を推進するためのマンパワーの確保を。行動力、判断力の低下のため火災発生通報装置、消火器、住宅改造等助成は。介護ボランティアの切符制度の考えはないか。

答弁高齢者が住み慣れた地域で生活が出来るよう支援する。老人福祉、保健、介護保険法に基づき実施する。津山市介護保険事業者連絡協議会で調査研究する。ITセンサー付の緊急通報装置等の普及を図る。ボランティア本来の自発的、無償という、崇高な精神で全国でも先進的な津山モデルで支援。

まちづくりについて

津山新星会議 近藤吉一郎



質問駅前地域の住民が津山駅周辺まちづくり協議会を設立し駅前整備を進めようとしていることへの思いは。

答弁東北の拠点都市の支関口で整備が

必要なのは言うまでもない。慎重を期し、十分検討して進めることが結果的に早期完成につながるかと理解している。駅周辺の重要性は十分わかっており、実施の条件整理など市も十分な研究を行いたい。

質問市が斎場の管理を委託している業者が、市が決めていた使用料以外のものを利用者等に負担させている実態に対し、市当局はその現状を認識しているのか。その事が事実であれば斎場の管理に対して再考すべきでは。

答弁担当から報告を受け十分に精査するよう指示している。また適切な管理のあり方を来年度で結論を出す。